

1と1とで100を築く



安全でスピーディな災害復旧



災害が起きてからの
迅速で的確な対応



被災状況の診断

- 災害申請に対するノウハウの保有
- 過去の蓄積データを活用した
自然条件の的確な抽出により
応急復旧が可能



- 被災要因の特定
- 自然と調和した工法の立案
- コスト・耐久性に優れた
工法の選定
- 現場に最適な施工計画の
立案



函館の土木遺産～東鵬開発 feat. 函館高専

産業遺産「蓬内橋」の撤去に伴う強度診断

■ 蓬内橋

五稜郭駅から旧戸井町へ至る、昭和12年に軍事目的で作り始めた鉄道線路。戦況の状況によって2.8kmを残し、工事は中断されたことから、「幻の鉄道」と言われている。また、建設記録がなく、噂では竹筋コンクリートを使用したと言われていた。



■ 解体・診断結果

純粋な無筋コンクリート構造物であり、建設後60年ほど経過しているにも関わらず、圧縮強度試験でコンクリートは健全な数値を示した。現在の設計基準強度以上の強度を有している。



■ 函館高専との連携メリット

蓬内橋の撤去が決定し、東鵬開発と函館高専が協力して、橋のコンクリートの強度診断を行った。函館高専と連携することで、一般的なコンクリート試験（圧縮強度、静弾性係数試験等）の他に、より詳細なコンクリートの性状を把握するための弾性波速度試験、微細構造観察等の試験を行うことができた。また、高専には様々な部門の技術保持者がいるため、使われた粗骨材の産出源まで推測できた。

★ 幅広い活動 ★



ユニバーサルデザインを取り入れた歩行者用標識の整備効果を
外国人観光客を対象にアンケート調査



植樹帯の草刈ボランティア



維持管理点検



空撮機の活用